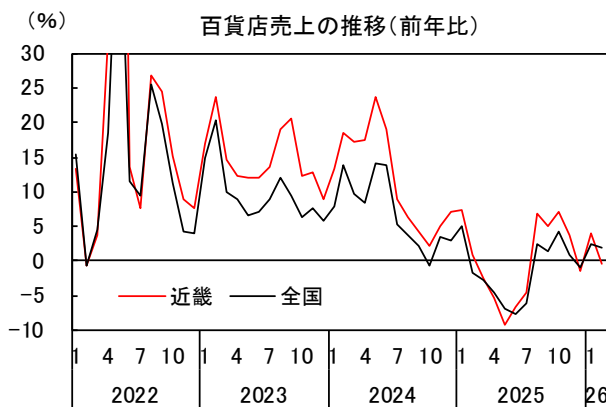
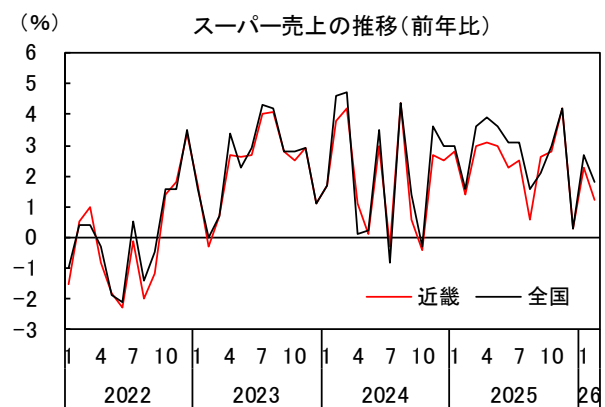


関西の景気トピックス【消費関連（26年2月）】

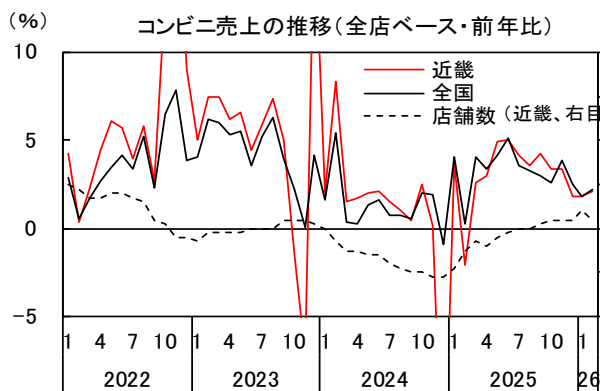
- 26年2月の百貨店売上（経済産業省）は前年比マイナス0.4%と2か月ぶりの減少となった。中国の渡航自粛によるインバウンド消費の減少が響き、売上全体も前年割れとなった。一方、スーパー売上の2月は前年比プラス1.2%と、食料品を中心とした値上げの影響で売上の増加が続いている。
- コンビニ売上（経済産業省）は、2月は全店ベースで前年比プラス2.1%と12か月連続の増加となった。インバウンド消費の鈍化などもあり、売上の増加率もやや縮小傾向となっている。
- 住宅着工戸数（国土交通省）の1月は、前年比マイナス2.0%と4か月ぶりの減少となった（3か月移動平均）。直近の3か月は前年を上回っていたが、1月は再び前年割れとなった。
- 各業界で売上が前年を上回る動きはみられるものの、インバウンド消費の鈍化が続く中、国内売上の継続的な増加は見込みにくい。ここへきて原油相場の高騰も始まったことで、先行きの不透明感がなお一層強まる形となっている。



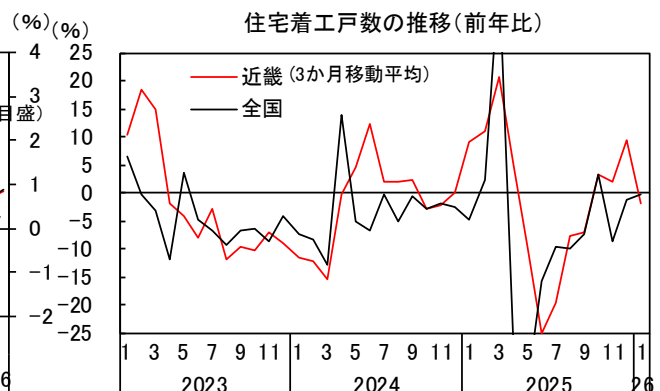
(出所)経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所)経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所)経済産業省



(出所)国土交通省「建築着工統計」